



キリシタン文化伝承プロジェクト
写真展「神の愛 人の心」

一般財団法人夢ノ社



団体名	一般財団法人夢ノ社
設立	平成25年7月
事務局	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-12-15 勝川ビル2F 電話：052-253-6669 FAX：052-253-6663
代表理事	白浜 龍男
事業目的	当法人は、日本及び世界の文化・芸術の振興、地球環境の保全、児童及び青少年の心身の健全な育成、海外の開発途上地域に対する経済協力を図り、もって国民生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民一人一人の豊かな人間性の涵養に役立つ調査研究及び事業、福祉の向上や心身の健康に関する市民意識の向上などに取り組み、地球上の人類の幸福と恒久平和の実現に寄与することを目的とする。
事業内容	1. 文化及び芸術の振興を目的とする事業 2. 人権擁護又は平和の推進を図る事業 3. 児童及び青少年の健全な育成を目的とする事業 4. 心身の健康に関する市民意識の向上を目的とする事業 5. 教育とスポーツ等を通じ、国民の身心の健全な発達に寄与し、更に豊かな人間性を涵養することを目的とする事業 6. 国際相互理解の促進及び海外の開発途上にある地域に対する経済協力を目的とする事業 7. 地球環境の保全、自然環境の保護及び整備を目的とする事業 8. 災害救援活動に関する事業 9. その他前各号に関連する事業

■ 目的

日本及び世界の文化・芸術の振興、地球環境の保全、児童及び青少年の心身の健全な育成、海外の開発途上地域に対する経済協力を図り、もって国民生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民一人一人の豊かな人間性の涵養に役立つ調査研究及び事業、福祉の向上や心身の健康に関する市民意識の向上などに取り組み、地球上の人類の幸福と恒久平和の実現に寄与することを目的とします。

■ 理念

人間は、その国籍や社会的地位、或いは性別に関わらず、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳を持って扱われるのが、本来のあり方です。

私たちは、その尊い個々の生命が自由と可能性を取り戻し、未来への希望と夢が持てる社会の実現に向けて、活動을続けて参ります。

■ 手段

“夢と感動”をテーマとしたプロジェクトを世界的に展開・支援し、個人の尊厳と自由を全世界の人たちが体感出来る社会実現に寄与いたします。



夢ノ社の構成

夢ノ社が支援する夢と感動を与えるプロジェクトの実施団体・個人

YUMEN  SYA
Empowered by
YUMENOSYA
エンパワースメント

支援

YUMEN  SYA
We like
YUMENOSYA
サポーター

支援

夢ノ社のコンセプトに共感し、
寄附やボランティア活動を通じて
支えて頂ける団体・個人

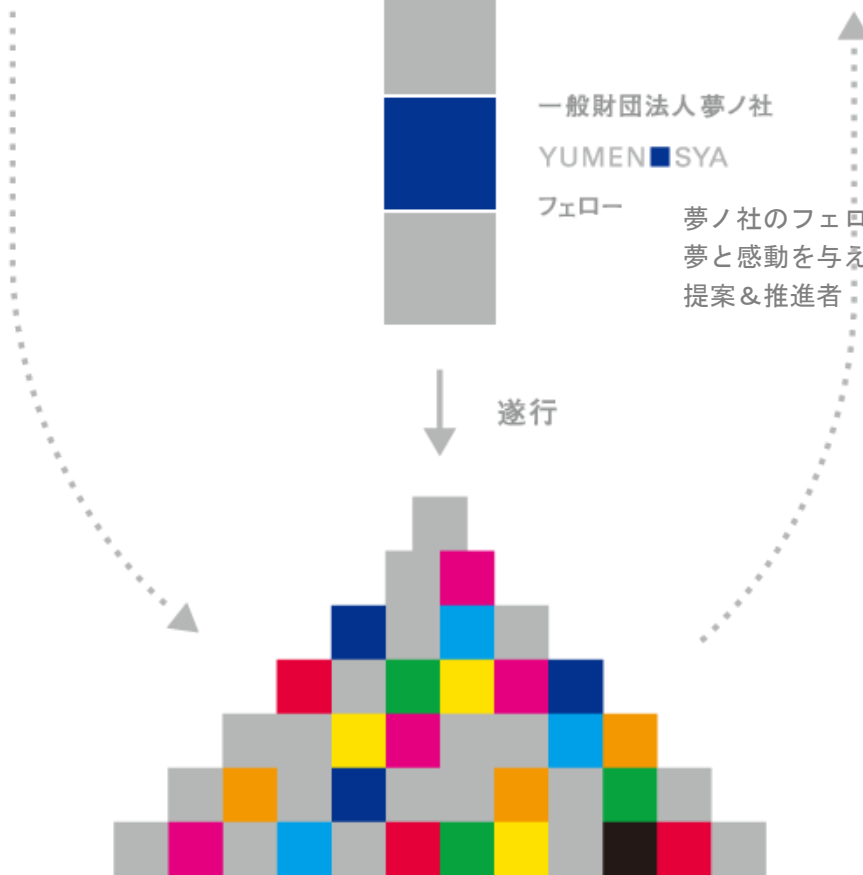
一般財団法人 夢ノ社
YUMEN  SYA
フェロー

夢ノ社のフェローとして、
夢と感動を与えるプロジェクトの
提案&推進者

遂行

「夢と感動」をテーマにしたプロジェクト

YUMEN  SYA





生月かくれキリシタンの祭壇

禁教時代の厳しい弾圧の中で、ただひたすら祈りを通して神と接することに喜びを感じていたキリシタン。

その信仰の有りさまは、生き生きとした神の神秘に包まれていました。

今は、その形跡を辿る事は難しくなっていますが、長崎県西北端に浮かぶ生月島には当時の信仰形態をそのまま守っておられる“かくれキリシタン”が現在も信仰を継承されています。

朝夕欠かさずに捧げられる祈りの部屋には、聖母子のお掛け絵、天照大神、阿弥陀如来と先祖霊、そして弘法大師の祭壇が一行に設けられています。そこには、キリスト教と神道、仏教が日本的な和の中で共生している姿があり、対立から共生へ向かう日本人らしい精神を窺い知ることが出来ます。

全てを信仰していて、どこにも属さない“かくれキリシタン”の祭壇は、キリスト教のみならず、他宗教の中でも議論の的となりましたが、多様性の尊重という観点からは、大きな価値が見出されます。

しかし、その信仰も、物質的に豊かになった社会の代償として、その輝きを失いつつあります。現実に見えぬものが価値判断の基準になっている現代。精神世界においても、形骸化とご利益信心が蔓延しているようにも思われます。

また、宗教の対立や形骸化は、人々の宗教に対する失望感を更に深め、宗教そのものをタブー化しています。

本年末には、バチカンよりローマ法王の訪日をご予定されておりますが、このような機会に諸宗教のリーダーが改めて日本に集まり、“かくれキリシタン”信仰の調和の姿をモデルとし、日本より世界に向けて宗教界が心をつなげて平和のメッセージを発信していただければとの願いもあります。

このような思いを込めて、キリシタン写真展を国内外で開催して参りますので、多くの方々にご覧いただければ幸いです。

キリシタン文化伝承プロジェクト：写真展「神の愛 人の心」

【目的】

キリシタン文化の中心な役割を担う長崎は、2018年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録されました。

一般財団法人夢ノ社はキリシタン文化伝承プロジェクトの一環として、その世界遺産の構成資産である中江ノ島や生月でのかくれキリシタンの信仰のあり方を写真などで体験できる写真展「神の愛 人の心」を企画しております。この企画は、2018年8月の東京での写真展開催に始まり、2019年東京オペラ協会主催の日本—ポーランド国交樹立100周年記念イベントに併催する形でポーランドでの開催も予定されており、国内外に広く日本人の崇高な精神的財産であるキリシタンの和の心をお伝えして参ります。

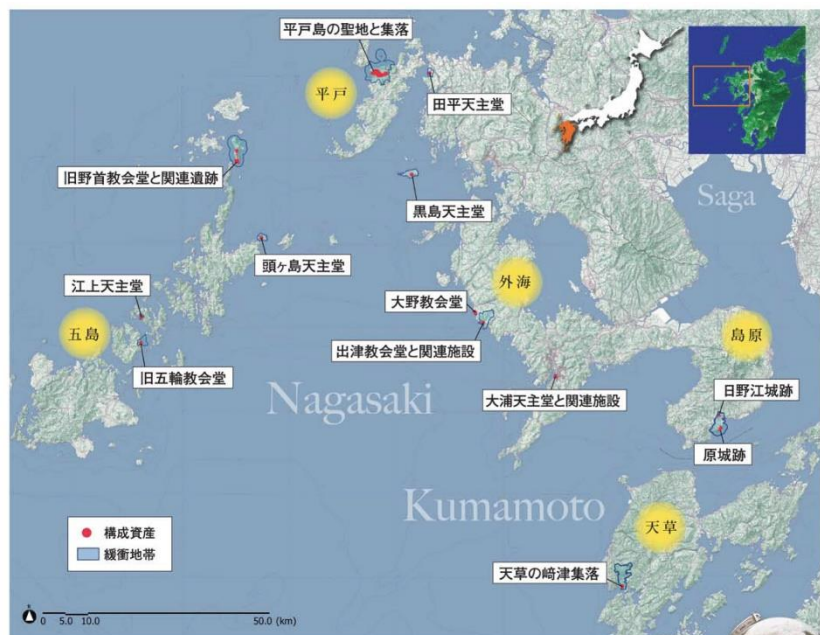


東京での開催風景（2018年8月12日）



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（2018年世界文化遺産登録）

構成遺産配置図



出典：長崎県世界遺産登録推進課

長崎県	
総人口	1,386,580 人
観光客数	3,130 万人 (2013年,長崎県統計)
外国人観光客数	91 万人 (2013年,長崎県統計)
外国人観光客国籍割合	韓国：45.2% (41万人) 台湾：23.7% (22万人) 中国：8.6% (8万人) ヨーロッパ：5.8% (5万人) アメリカ：5.7% (5万人)

キリシタンの聖地 長崎

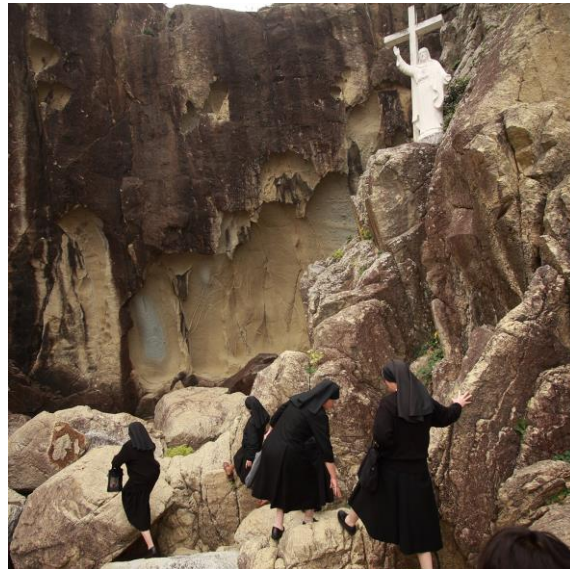
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教信仰が、大航海時代に西欧から日本に伝わり、日本古来の文化との交流を通じて民衆に深く浸透し、その結果、禁教下の時期にも密かに継承され、独特の宗教・文化的伝統を形成し、解禁後には、それまでの苦難を乗り越えて、根強い信仰の力となって発展していくという、4世紀にわたる伝播と普及・禁教下の継承・解禁後の信仰の復帰の過程をあらわす城跡・歴史的景観・教会建築のアンサンブルです。

長崎におけるキリスト教の伝来と繁栄、激しい弾圧と250年もの潜伏、そして奇跡の復活、という、世界に類を見ない布教の歴史を物語る資産として、2018年にユネスコの世界遺産に登録されました。カトリック中央協議会の統計資料によると、長崎教区のカトリック信者数は6.3万人で、対人口比率4.4%と他地域（全国44万人、対人口比率0.4%）に比べ圧倒的に多いことから、長崎にはキリスト教文化が根付いているとも言えます。

写真展「神の愛人の心」



写真展「神の愛人の心」



写真展「神の愛人の心」





お問い合わせ



YUMEN  SYA

団体名	一般財団法人夢ノ社 キリシタン文化伝承プロジェクト
所在地	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-12-15 勝川ビル2F 電話：052-253-6669 FAX：052-253-6663
代表理事	白浜 龍男
URL	http://www.yumenosya.or.jp
問合せ先	yumenosya@yumenosya.or.jp



Facebook

<http://www.facebook.com/YUMENOSYA>
